

令和3年11月25日

名古屋市教育委員会

1 名古屋市におけるスクール・ミッション、スクール・ポリシーの策定状況

- (1) 名古屋市教育委員会において「スクール・ミッション」再定義
名古屋市立高校と連絡をとりながら、スクール・ミッション（案）を作成中
- (2) 名古屋市立高等学校に「高等学校における『三つの方針』の策定・公表について」（別紙資料）を発出（令和3年6月）
- ①各校の「三つの方針（スクール・ポリシー）」策定
- ・仮方針案集約（令和4年1月中旬）
 - ・最終方針案集約（令和4年2月中旬）
- ②各校の「三つの方針（スクール・ポリシー）」をホームページで公表
（令和4年4月1日まで）
- ・中学生や保護者にとってわかりやすく、高校選択時の参考情報となるようにする。
 - ・「3つの方針」を学校、生徒、保護者で共有する。

各高等学校の「3つの方針」

- 1 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
- 2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
- 3 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

2 名古屋市立高等学校の特色化・魅力化に向けた方策について

1. 「魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画」(H25～29)

- (1) 理数教育・国際理解教育
- 向陽高等学校
「国際科学科」(H27～) スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)指定
本市の理数教育の拠点校 ⇒ **SSH指定3期目(R2～)**
 - 北高等学校
「国際理解コース」(H27～) 英語コミュニケーション能力の向上、日本文化・異文化理解
- (2) 専門教育・キャリア教育
- 工業高等学校と工芸高等学校 デュアルシステムコース ドイツ派遣 (H27～)
 - 名古屋商業高等学校
「国際経済科」を「グローバルビジネス科」に改編 (H29～)
スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)指定 (H27～29)
 - 若宮商業高等学校 ビジネスコース「観光選択」新設 (H29～)
- (3) 高大連携
- 名古屋市立大学（市教委との連携協定締結 H26）
「まるごと研究室体験」「高大連携授業」
「グレイド・スキップ・チャレンジ」(R1～)
「高大接続推薦型選抜」実施
総合生命理学部 (H31入試～)、医学部・薬学部(R3入試～)、経済学部 (R4入試～)

2. 「魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画（第2次）」（H30～10年間）

（1）学びのあり方改革

普通科単独校4校の中から、地域性や学校の取組、学校が抱えている課題等を考慮して、緑高等学校をパイロット校に位置付け、授業改善の取組を名古屋市立高校全体に拡大

（2）「グローバル・エデュケーション・センター」（GLEC）の開設

グローバル化する社会において活躍できる人材育成

（3）若宮商業高等学校と高等特別支援学校併設に向けて

特別支援学校における教育のあり方検討にかかる有識者ヒアリングでの助言を受け、インクルーシブ教育推進のため、各コース・行事等・教科等における生徒の交流及び共同学習を検討中。

3. 商業科・総合学科教育の充実

（1）商業教育のあり方検討プロジェクトチーム（PT）の取組

若宮と高等特別支援学校の併設（R6～）が決定したことを契機に、若宮の魅力向上を目指した「特色ある商業教育」の推進と、今後の名古屋市立高校の商業教育のあり方を検討するために、プロジェクトチーム（PT）を設置（H30）
各地の先進事例の視察、有識者の招聘による意見交換を通して、今後のあり方を検討。

（2）商業科・総合学科3校の学科改編（R04～）（別紙資料）

若宮商業高等学校	名古屋商業高等学校	西陵高等学校
<ul style="list-style-type: none"> ・小学科をコース制へ ・キャリア教育の充実 ・インクルーシブ教育の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科名称変更と教育内容の刷新 ・SPHの実績を活かした特色ある商業教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・新系列設立 ・総合学科の二一ズの高さに対応した教育課程検討

（3）商業教育の充実に向けた3校連携ワーキンググループ（WG）の取組（R02～）

商業科・総合学科教育の充実についての3校連携を模索するため、定期的に代表が集まり、意見交換を行っている。

年度	学校改編のスケジュール
R04（2022）	新学習指導要領実施
R05（2023）	若宮：新小学科開始 名商：新名称小学科開始 西陵：新系列開始
R06（2024）	高等特支開設

商業科・総合学科3校連携へ

- マレーシアへの海外派遣充実を検討
- 学習指導の方法の共有
- 商業教育の理解促進
- 特色ある教育実践のコラボレーション



3教指第132号

令和3年6月10日

名古屋市立高等学校長 様

教育委員会指導室長

高等学校における「三つの方針」の策定・公表について

『令和の日本型学校教育』の構築を目指して(令和3年1月26日中央教育審議会答申)等を踏まえた高等学校教育改革の推進を図るため、令和3年3月31日に学校教育法施行規則等の一部を改正する省令等が公布されました。

その第百三条の二において、高等学校は、当該高等学校、全日制の課程、定時制の課程若しくは通信制の課程又は学科ごとに、次に掲げる方針を定め、公表するものとされています。

- 一 高等学校学習指導要領に定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針
- 二 教育課程の編成及び実施に関する方針
- 三 入学者の受入れに関する方針

各学校におきましては、別紙2の記載内容に留意したうえで、各校の「三つの方針」(スクール・ポリシー)を策定して、以下の要領で提出・公表をお願いいたします。

記

1. 様式

別紙1参照

2. 提出先

名古屋市教育委員会指導室 学校担当指導主事

3. 提出期限

令和4年1月21日(金) 仮方針案

令和4年2月10日(木) 最終方針案

4. 公表

各学校のHPにおいて公表(令和4年4月1日までに)

IP 644-034

TEL 972-3234

「三つの方針」の記載について

留意点

- 各校 A4 1枚 となるように作成ください。
(専門高校等や専門学科併設校も)
- 各方針のタイトルについては以下の記載例に合わせ作成ください。
- 各方針の項目は、あまり多くならないようにおまとめください。
- 上記以外については、様式は任意です。

【基本様式】

名古屋市立〇〇高等学校「三つの方針」

1 生徒育成方針

-
-
-

2 教育課程編成・実施方針

-
-
-

3 生徒募集方針

-
-
-

【複数学科を併設している学校】

名古屋市立〇〇高等学校「三つの方針」

(普通科)

1 生徒育成方針

-
-

2 教育課程編成・実施方針

-
-

3 生徒募集方針

-
-

(〇〇科)

1 生徒育成方針

-
-

2 教育課程編成・実施方針

-
-

3 生徒募集方針

-
-

※ 各項目の記載は、箇条書きでも、文章でも構いません。

※ 工業高校全日制と定時制

中央高校の昼間定時制と夜間定時制 は別の用紙で作成ください。

「三つの方針」を作成する際の留意点

全体として

スクール・ポリシーが、学校教育目標を実現するために必要な教育活動の方針であることを踏まえ、各高等学校においては、最初に学校教育活動を通じてどのような資質・能力を育むことを目指すのか(グラデュエーション・ポリシー)を明らかにし、そのために求められる教育課程を編成・実施するための方針(カリキュラム・ポリシー)を、最後に教育活動に沿って学びうる生徒像(アドミッション・ポリシー)を定めるという順序で検討する。

- 校長がリーダーシップを発揮しながら、全教職員が責任を持って参画し、組織的かつ主体的に策定を進めているか。
- 特色・魅力ある教育の実現に向けた整合性のある指針となっているか。
- 中学生や保護者にとって、わかりやすい内容で、学校選択時の参考情報となっているか。

1. 育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

- 生徒の卒業後の姿を見据えた方針となっているか。
- 生徒にどのような資質・能力を育成することを目指すのかを定める基本的な方針となっているか。
- 教職員にとって、日々の教育活動の最終的な目標となっているか。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

- 「育成を目指す資質・能力に関する方針」を達成するための方針となっているか。
- 教育課程の編成・実施・学習評価を行う基本的な方針となっているか。

3 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

- 「グラデュエーション・ポリシー」及び「カリキュラム・ポリシー」を踏まえ、これら方針に基づく教育を受ける生徒に対するメッセージとなっているか。
- 学校選択時の大きな判断基準となり、入学に向けた目標となっているか。
- 学ぶ意欲をもった生徒に対して教育の門戸を閉ざすような、余りに厳格に定めているものになっていないか。

令和4年度から名古屋市立高校 商業科・総合学科3校は 新たな時代を生きる生徒の多様なニーズに応えるため、さらに**進化**します。



若宮商業高等学校

『未来ビジネス科』として
生まれ変わります

- 3学科を未来ビジネス科として統合し、生徒が興味・関心に応じて柔軟に選択できる5つのキャリアコースを設置します。

5コース

経済キャリア、観光キャリア、 デザインキャリア、会計キャリア、 情報キャリア
--

- デュアルシステムを導入し、社会の即戦力となる実践的・専門的な教育を行います。
- 地域連携を推進し、市内唯一の観光キャリア、デザインキャリアコースなど、特色ある商業教育を進めます。



名古屋商業高等学校

実社会やビジネスに結びつく
科名と学習内容に更新します

- 『商業科』を『オフィスビジネス科』に、『情報処理科』を『ITビジネス科』に改めます。
- ビジネスの様々な場面で役立つ知識・技術を身に付けるとともに、「商業」の学習を通して「考える力」を育てます。
- 『グローバルビジネス科』の国際理解教育や、文部科学省のスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業(2015-2017)の実績を生かして、グローバルな社会で活躍できる新しい時代の商業教育を目指します。



西陵高等学校(総合学科)

『子ども系列』を新設し、夢の
実現の可能性を広げます

- 県内総合学科初の『子ども系列』では、子どもを取り巻く様々な問題を発見して解決できる資質・能力を育み、将来、広く子どもに関わる職業を目指す人材を育てます。
- 商業3系列は『経営ビジネス系列』『国際ビジネス系列』『情報ビジネス系列』に一新し、地域に貢献し主体的にビジネスの諸問題を解決できる人材育成を、より一層進めます。
- 全7系列の中から主体的に科目を選択し、自分の「夢に向かって学ぶ」学校です。



3校連携・社会と繋がる教育実践

開かれた学校づくりへ



名古屋市立高等学校の学科改編、学科名称変更、新系列設立について

名古屋市教育委員会では、高等学校の新教育課程の施行に合わせ、新たな時代を生きる生徒の多様なニーズに応えるため、令和4年度入学生から商業科・総合学科において以下のように改編等を行います。

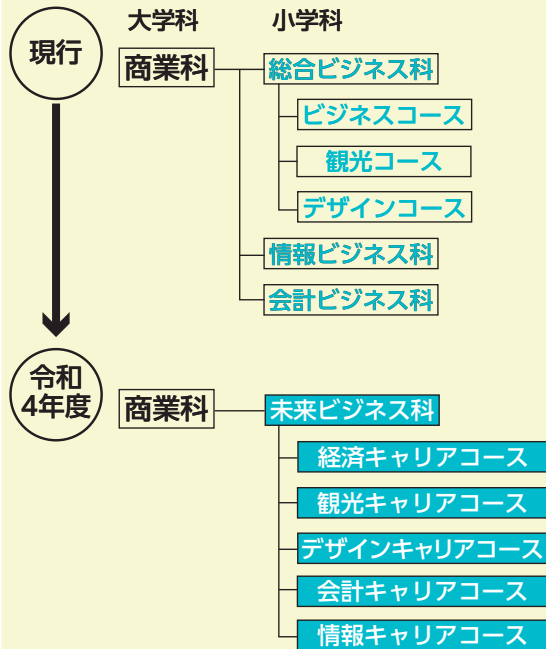
若宮商業高等学校

<https://www.nagoya-c.ed.jp/school/wakamiya-ch/>



学科改編

総合ビジネス科
情報ビジネス科
会計ビジネス科 } **未来ビジネス科**



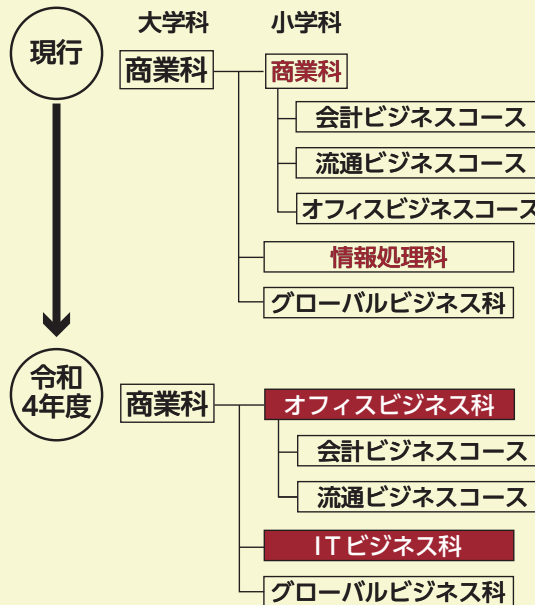
名古屋商業高等学校

<https://www.nagoya-ch.ed.jp/>



学科名称変更

商業科 → **オフィスビジネス科**
情報処理科 → **ITビジネス科**



西陵高等学校(総合学科)

<http://www.seiryo.ed.jp/>



新系列設立 子ども系列

3系列の名称変更

